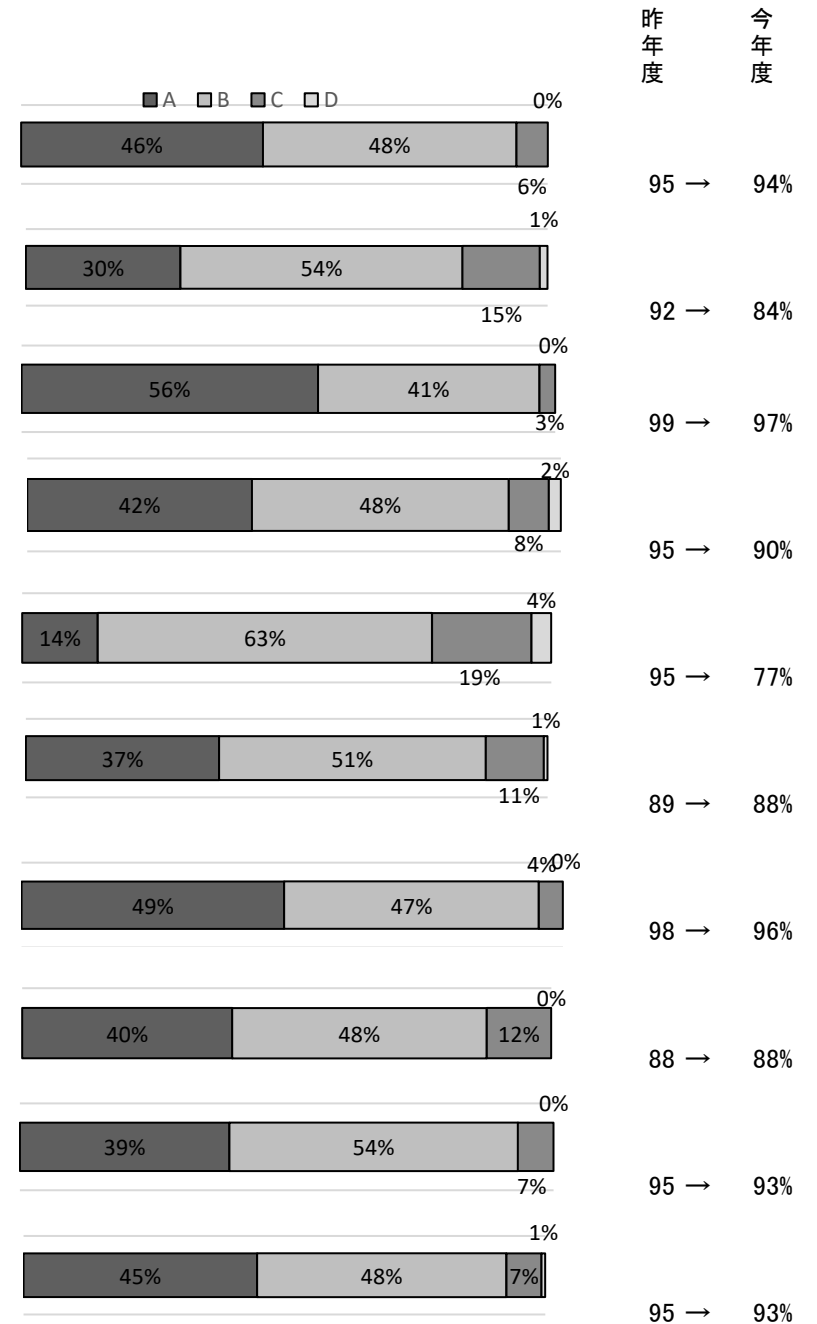


令和3年度 学校教育自己診断【教職員用】 集計結果

(↑または↓:5%以上変化、↑↑または↓↓:10%以上変化)

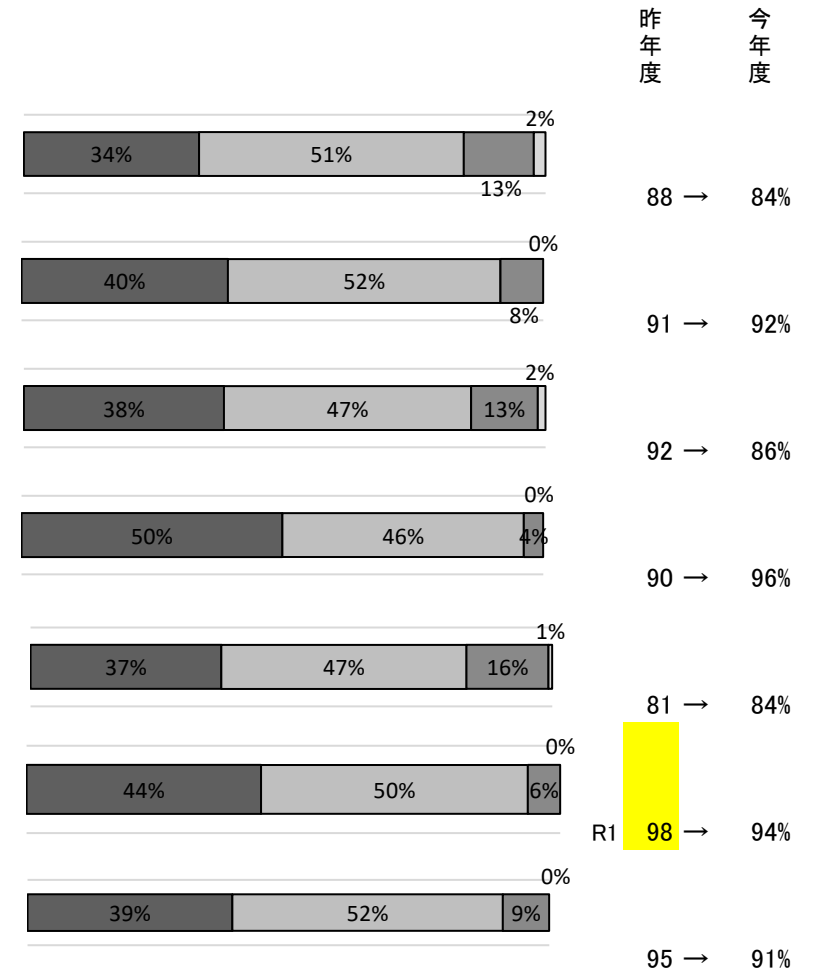
	質問文	A よく あてはまる	B まあまあ あてはまる	C あまり あてはまらない	D まったく あてはまらない
教育活動に関するもの	1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	46%	48%	6%	0%
	2 ↓ めざす学校像「笑顔きらめく元気な学校」「君の得意を見つけのばそういいところ」「つながる心 つなげよう未来へ」に基づいて、教育活動を行っている。	30%	54%	15%	1%
	3 児童生徒の人権を十分に尊重して、日常の教育活動を行っている。	56%	41%	3%	0%
	4 ↓ 年間の学習指導計画や、指導内容について、日常的に各部、学年、教科、グループ等で話し合い、児童生徒の実態に合わせて、適宜指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	42%	48%	8%	2%
	5 ↓ ↓ 学習評価では3観点を意識し、バランスよく評価している。	14%	63%	19%	4%
	6 カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	37%	51%	11%	1%
	7 生活指導において、家庭や関連機関との連携ができている。	49%	47%	4%	0%
	8 児童生徒や保護者が学級担任以外の教職員とも相談できる体制が整っている。	40%	48%	12%	0%
	9 学校の教育活動全般において、安全指導・防災教育を行っている。	39%	54%	7%	0%
	10 児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会をつくっている。	45%	48%	7%	1%



令和3年度 学校教育自己診断【教職員用】 集計結果

(↑または↓:5%以上変化、↑↑または↓↓:10%以上変化)

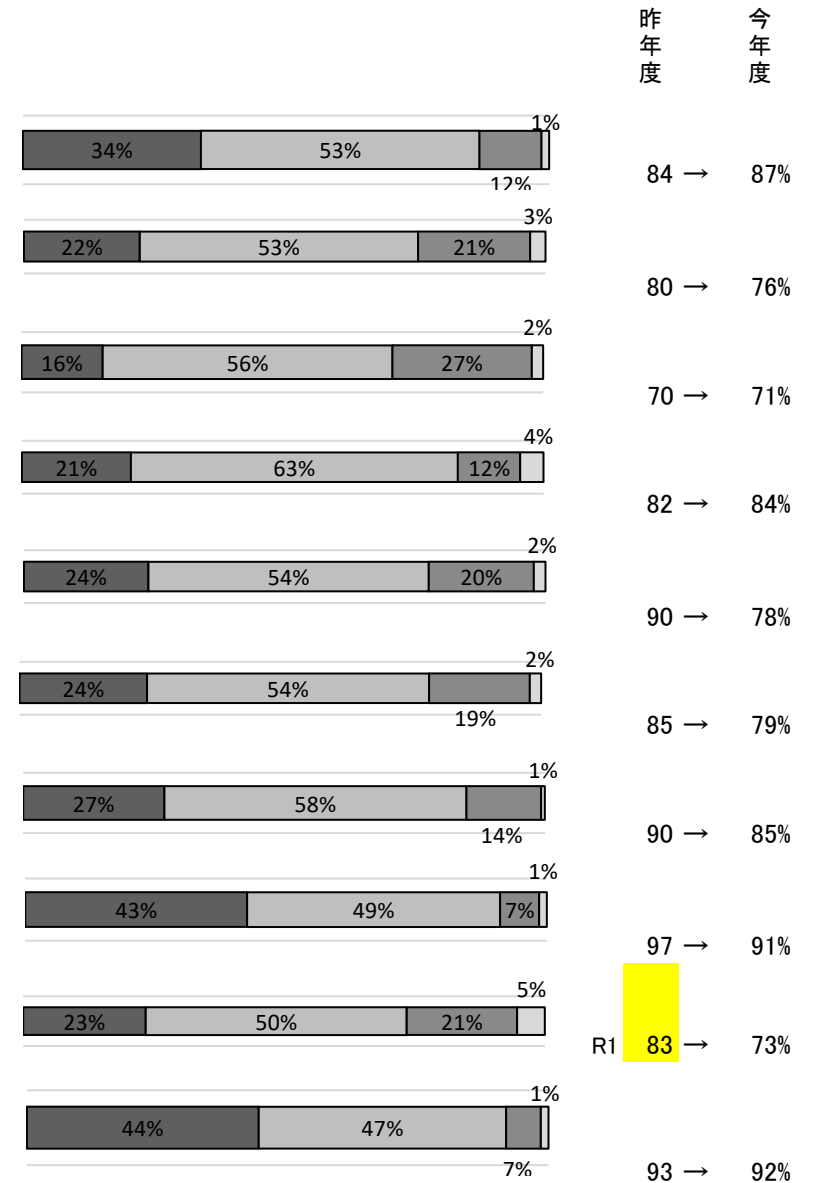
	質問文	A よく あてはまる	B まあまあ あてはまる	C あまり あてはまらない	D まったく あてはまらない
教育活動に関するもの	11 児童生徒の発達段階や実態に応じて、環境、国際理解、自分たちの暮らしなどについて、教育活動に取り入れている。	34%	51%	13%	2%
	12 いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	40%	52%	8%	0%
	13 ↓ 児童生徒が将来の進路や生き方について考える機会を設けたり、一人ひとりが興味・関心・適性に合った進路選択ができるように丁寧な指導を行ったりしている。	38%	47%	13%	2%
	14 ↑ パソコン・タブレット等のICT機器が、授業など児童生徒の学習活動に活用されている。	50%	46%	4%	0%
	15 教育活動に、外部講師や諸施設の活用が行われている。	37%	47%	16%	1%
	16 体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	44%	50%	6%	0%
	17 給食の食材や献立は、配慮・工夫されている。	39%	52%	9%	0%



令和3年度 学校教育自己診断【教職員用】 集計結果

(↑または↓:5%以上変化、↑↑または↓↓:10%以上変化)

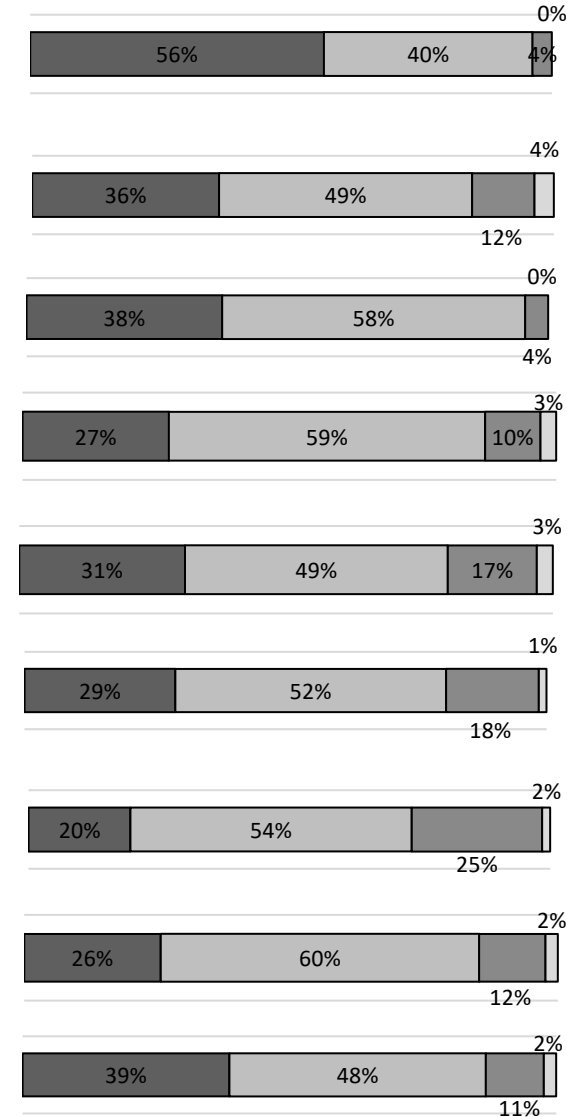
	質問文	A よく あてはまる	B まあまあ あてはまる	C あまり あてはまらない	D まったく あてはまらない
学校経営に関するもの	18 校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにし、職朝や職員会議等で教職員に伝えている。	34%	53%	12%	1%
	19 学校運営に、分掌部会や学部会、学年会などの会議の内容や教職員の意見が反映されている。	22%	53%	21%	3%
	20 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員は意欲的に取り組んでいる。	16%	56%	27%	2%
	21 各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	21%	63%	12%	4%
	22 ↓ ↓ 教室や特別教室(掲示・作品展示を含む)は清掃、整理整頓され、知的障がい支援学校の児童生徒の生活の場に適した教育環境が整っている。	24%	54%	20%	2%
	23 ↓ 各教科の備品や教材教具は計画的に購入され、適切に活用されている。	24%	54%	19%	2%
	24 ↓ 教育活動に必要な情報について、児童生徒、保護者や地域への周知に努めている。	27%	58%	14%	1%
	25 ↓ 児童生徒の個人情報に関する管理システムが確立され、適切に取り扱われている。	43%	49%	7%	1%
	26 ↓ ↓ 教職員はPTA活動に協力している。	23%	50%	21%	5%
	27 情報提供の手段として、学校のホームページやメール配信サービスが活用されている。	44%	47%	7%	1%



令和3年度 学校教育自己診断【教職員用】 集計結果

(↑または↓:5%以上変化、↑↑または↓↓:10%以上変化)

	質問文	A よく あてはまる	B まあまあ あてはまる	C あまり あてはまらない	D まったく あてはまらない
学校経営に関するもの	28 個別の教育支援計画や個別の指導計画(自立活動・各教科等)について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、保護者に開示・説明している。	56%	40%	4%	0%
	29 部会や学年会などが教職員が意見を出し合って意思決定する場として有効に機能している。	36%	49%	12%	4%
	30 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	38%	58%	4%	0%
	31 校内研修が計画的に実施され、教育実践に役立っている。	27%	59%	10%	3%
	32 初任者等、経験の少ない教職員を育成するために学校全体で育成する体制がとれている。	31%	49%	17%	3%
	33 ↓ 公開授業週間や指導略案を活用して、他の教員の授業を見学したり、授業方法等について意見を交換したりしている。	29%	52%	18%	1%
	34 研修・研究に参加した成果を、学年、教科、分掌等、必要な教職員間で共有している。	20%	54%	25%	2%
	35 支援教育の専門性を高めるために自主的に講習会等に参加したり、資格を取得したりするなど、知識・技能・教養を向上させる努力をしている。	26%	60%	12%	2%
	36 必要な場面でヒヤリハットを迅速に報告するように心がけ、また、ヒヤリハットの報告をもとに、指導体制・方法等を振り返り、安全・安心な教育活動に役立っている。	39%	48%	11%	2%



昨年度	今年度
98 →	96%
88 →	84%
95 →	96%
88 →	87%
81 →	80%
86 →	81%
72 →	73%
→	85%
→	87%